

6 年生 「仙台の自然」授業での活用アイデア例

時期	単元名 おもな学習活動	学習に使用するページ
		資料
9 月	<p>単元名 「月の形と太陽」</p> <p>月の形が、日によって変わって見えるのは、 どうしてだろうか。</p> <p>学習活動例</p> <p>(1) 「仙台の自然」p. 95の表から半月や三日月の月が見える日を探して観察する。 ※ 今年度のデータは、教育センターのホームページ等でダウンロードして利用する。</p> <p>(2) 数日後に、もう一度同じ場所で観察する。</p> <p>(3) 月の位置と形はどのように変わったか、月の光っているところと太陽の位置にはどのような関係があるか、観察1と観察2の結果をまとめる。</p> <p>(4) 月の形が変わって見える理由を考える。</p> <p>(5) ボールに光を当てる実験を行い、確かめる。</p> <p>(6) 「仙台の自然」p. 99「伊達政宗のかぶとと月の形」を読み、三日月と太陽の位置関係について考える。</p>	<p>「仙台の自然」p. 95, 99</p> <p>「仙台の自然」p. 95の表から半月や三日月の月が見える日を探して観察する。 ※ 今年度のデータは、教育センターのホームページ等でダウンロードして利用する。</p> <p>数日後に、もう一度同じ場所で観察する。 月の位置と形はどのように変わったか、月の光っているところと太陽の位置にはどのような関係があるか、観察1と観察2の結果をまとめる。 月の形が変わって見える理由を考える。 ボールに光を当てる実験を行い、確かめる。 「仙台の自然」p. 99「伊達政宗のかぶとと月の形」を読み、三日月と太陽の位置関係について考える。</p>
	<p>単元名 「変わり続ける大地」</p> <p>地震によって、大地のようすは、どのように 変化するのだろうか。</p> <p>学習活動例</p> <p>(1) わたしたちが住む地域に、地震によって変化した様子が見られるか話し合う。</p> <p>(2) 「仙台の自然」p. 36, 37を読み、2011年東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)と1978年宮城県沖地震を比較し、地震によって起こった土地が変化について予想する。</p> <p>(3) 調べたことや観察した結果をまとめ、大地の変化と災害について発表する。</p> <p>(4) 自分たちが住んでいる土地の変化との関連について考える。</p>	<p>「仙台の自然」p. 36, 37</p> <p>① 揺れによる被害</p> <p>2011年東北地方太平洋沖地震 (東日本大震災)</p> <p>発生日時: 2011年3月11日14時46分</p> <p>震源の位置: 三陸沖 (仙台市の東方約180km) 北緯38度6分 東経142度51分</p> <p>震源の深さ: 24km</p> <p>地震の規模: M=9.0</p> <p>震度: 震度6強(仙台市) 震度7(栗原市)</p> <p>1978年宮城県沖地震</p> <p>1978年6月12日17時14分</p> <p>宮城県沖 (仙台市の東方120km) 北緯38度9分 東経142度13分</p> <p>40km</p> <p>M=7.4</p> <p>震度5(仙台市)</p>
9 月 ・ 1 0 月		

単元名 「地球に生きる」

人は、くらしのなかで、環境とどのようにかわり、その結果、環境にどのようなえいきょうをおよぼしているのだろうか。

2 学習活動例

月

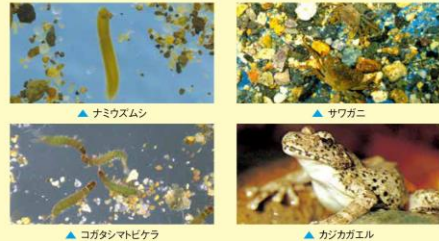
- (1) 人が水を利用して生きていることに気づき、水をきれいに保つことの大切さに気付く。
- (2) 「仙台の自然」 p. 62 を読み、川の水の汚れが生物によって判定できることを知る。
- (3) 水の汚れがどうして起きるかを話し合い、自分たちにできることを考える。

「仙台の自然」 p. 62

③ 生物による水質判定

生物は自分に適した場所にすんでいることから、河川にすむ様々な生物を調べると、その結果から河川の水質の状態を知ることができます。

清流にしかすめない種類や汚れに強い種類、それにやや汚れていてもすむことができる種類などがあります。自分でも調べてみましょう。



↑
きれいな水

これからも、人が地球でくらし続けるために、自分たちにできることを考え、「行動宣言書」にまとめましょう。

学習活動例

3 月

- (1) 教科書 p. 195～199 と「仙台の自然」p. 100, 101 を読み、地球の環境を考えた取組や噴火や地震、台風への対応、SDGs について知るとともに、生物多様性の視点から人と生物や環境のつながりに気付く。
- (2) 仙台で取り組んでいる活動や対策などを調べ、自分たちでできることを考える。
- (3) 「行動宣言書」に、人が地球で暮らし続けるために、自分たちがこれから取り組むことをまとめ、互いに発表し合う。

※ 当該ページは、C4th書庫からダウンロードして利用する。

「仙台の自然」 p. 100, 101

好きなものや身の回りのものから、生きものとのつながりを探してみよう！



このように、地球上の様々な生きものが、つながりがわり合いながら生きていることを「生物多様性」と言います。

生物多様性を守ることが、わたしたちの豊かな生活につながっていきます。そのためにも、様々な生きものとのつながりを感じて、一緒に生きていくことがとても大切です。

